

「PASSION 2026」期間中の重点施策目標と2024年度の実績

			ベンチマーク	2024年度		2025年度	2026年度	2027年以降
				目標	実績	目標	中期計画	中長期計画
Planet 	GHG排出量	Scope 1、2	2021年排出量 3,020千トン-CO ₂	3,020千トン-CO ₂ 以下	2,868千トン-CO ₂	3,020千トン-CO ₂ 以下		2035年：2021年比 63%削減 2050年：ネットゼロ
		Scope 3 (カテゴリー1)	2021年排出量 2,941千トン-CO ₂	-グループ全体で2/3以上を 占める排出源を特定 -2024年・2026年の削減数 値目標を策定	-グループ全体で2/3以上を占 める排出源を「カテゴリー1」と 特定 -カテゴリー1の削減目標を策定	—		2035年：2021年比 37.5%削減
Product 	自然環境・生活環境貢献製品売上高比率		2020年 46%	57%	58%	61%	60%	—
	(内、自然環境貢献製品比率)		(16%)	(25%)	(26%)	(28%)	(27%)	—
	(内、生活環境貢献製品比率)		(30%)	(32%)	(32%)	(33%)	(33%)	—
	全売上高におけるPSA評価のカバー率		—	80%	81%	83%	—	—
People 	労働災害	A、Bランク労働災害 ^{※1}	2021年 3件	0件	4件	0件	0件	—
		全労働災害度数率 ^{※2}	2021年 2.89	1.8以下	2.32	1.6以下	1.3以下	—
	保安防災	A、B、Cランク事故 ^{※3、4}	2021年 3件	0件	4件	0件 ^{※4}	0件 ^{※4}	—
		D ₁ 、D ₂ ランク事故 ^{※3}	2021年 7件	3件以下	21件	3件以下	3件以下	—
	ダイバーシティと インクルージョン	グローバル施策	—	-人材データベース整備・ 人材登用 -グローバルモビリティの 推進	-データベース構築のための プロジェクトを発足 -短期駐在員制度の整備	-人材データベース整備・人材登用（人材の見える 化、効率的な人材活用） -グローバルモビリティの推進（機会の拡大と人材交 流の活性化）		—
		中核人材の多様性確保 ^{※5}	2021年9月末12%	16%	18%	—	20%	2030年：25%

※1 当社独自の指標による労働災害の分類：重い方からA>B>C>Dの4ランク

※2 全労働災害度数率：労働災害（休業および不休業）の労働時間百万時間当たりの発生件数を表す

※3 当社独自の指標による保安事故の分類：重い方からA>B>C>D₁>D₂の5ランク

※4 2025年度からA、B、Cランクの保安事故“ゼロ”に加え、中期目標であるA、B、Cランクの保安トラブルについても発生“ゼロ”を目指す

※5 日本国内の管理職における女性・外国人・キャリア採用社員の比率（生産事業所は除く）